

デジタル九歯大文学第 12 号
北文協特集

「北文協」は北九州・山口地区の大学の文芸部の連合体で正式名称は「北九州地区大学文芸協議会」です。

年間 1 冊の同人誌「炎群(ほおむら)」を発刊していました。

また年に 1 回合宿を行っていました。参加大学は、

北九州大学

九州歯科大学

九州共立大学

九州女子大学

西南女学院短期大学

梅光女子短期大学

九州工業大学

でした。

始まりは昭和 30 年代後半(昭和 38 年か?)と推定されます。

昭和 48 年頃までは存在を確認していますが、その後の状況は不明です。

合宿は昭和 43 年 5 月に芦屋で、昭和 44 年 5 月に阿蘇青年の家で、昭和 45 年 5 月に志賀島青年の家で行われました。その前後にも行われたかどうかは不明です。

また各大学文芸部が同人誌を発刊すると、各大学文芸部に配布され、合評会を行っていました。

「炎群」や各大学の同人誌をお手元に保持されている方は是非それを日本近代文学館もしくは国立国会図書館に寄贈して下さい。

自分の過去の作品など見たくもないとお思いでも、すでにそれらは歴史資料です。

是非保存にご協力ください。

炎群 4 号、5 号、6 号、7 号、8 号に掲載された九州歯科大学文芸部員の作品一覧は下記です。

「炎群」九歯大執筆者目次

| | 作者 | 頁 |
|-----|--------------------|---------|
| 炎群4 | 昭和 41 年 12 月 1 日発行 | |
| 詩 | 富士山の唄 | 山地直樹 8 |
| | 或る男の唄 | 山地直樹 14 |

| | | | |
|-----|-----------------------|-------|----|
| | 今大空の下に | 山地直樹 | 26 |
| 炎群5 | 昭和 42 年 11 月 10 日 | | |
| 詩 | プレリュード | 山地直樹 | 18 |
| | 孤独への挑戦 | 山地直樹 | 19 |
| | その晩ひとつの星が永遠に光を失ってしまった | 山地直樹 | 20 |
| | 美しい生命のエレジー | 山地直樹 | 21 |
| | 1枚のカード | 山地直樹 | 22 |
| | 冬山 | 山地直樹 | 23 |
| | 祈り | 山地直樹 | 24 |
| | 青春エレジー | 山地直樹 | 32 |
| | 過失 | 久保悦子 | 39 |
| 炎群6 | 昭和 44 年 1 月 10 日発行 | | |
| 詩 | ほしがしぬときのうた | 山地直樹 | 4 |
| | 旅(裏日本の海) | 山地直樹 | 16 |
| 創作 | 世界で 3 番目に短い小説 A 君の話 | 倉沢良典 | 29 |
| | 蠅の部屋 | 倉沢良典 | 38 |
| 炎群7 | 昭和 45 年 1 月 20 日発行 | | |
| 目次 | | | |
| 詩 | 音 | 青柳雄一郎 | 10 |
| | | | 1・ |
| 創作 | アドバタイズメンツ フォー アワセルフ | 倉沢良典 | 40 |
| | 執筆者住所録 | | |
| 炎群8 | 昭和 45 年 11 月 30 日 | | |
| 目次 | | | |
| 創作 | 我ら死肉喰うものたち | 倉沢良典 | 26 |
| 編集後 | | | |
| 記 | | 無署名 | |
| | 執筆者住所録 | | |



昭和44年5月阿蘇青年の

家での合宿



昭和44年5月阿蘇にて

なおこの記事に誤謬があれば本部同窓会経由で倉沢までご連絡ください。

.....

北文協第2回OB会報告

H25年2月10日(日)~11日(祝)

三重湯の山温泉

参加者:岡本、福田恭憲、浜西健、宮崎、倉沢良典

集合:JR関西線蟹江駅 14:23

倉沢は13時頃到着。岡本氏運転のワンボックスカーに福田氏・浜西氏同乗して14:00頃到着。14:24 宮崎氏到着。

一路、車にて三重湯の山温泉に向かう。

四日市を過ぎる頃から普段は込まない道が渋滞。30分程度の予定が1時間を超える。
道の左横を近鉄湯の山線が走る。

山道に差し掛かると消え残った雪が道端にまだ有り、道は急峻。

近鉄線終点湯の山温泉駅からまだ山道を5分ほど登る。

道左脇のが崖上に作られたらしき駐車場に車を着ける。

道左脇の崖下にエレベーター入口がホテルへの入口。

エレベーターを出て更に石段を数十段登ってようやくホテル玄関。

脚腰悪き人は行くことあたわず。

ホテルは昭和40年代に建てられたと思える年期物。

部屋も次の間は有るものの8畳一間にて5人でまさに雑魚寝状態。昔の合宿を思い出す。

倉沢と宮崎氏は実に42年ぶりの再会。倉沢と岡本氏も10年前の北文協第1回OB会の長野以来の再会。他の4氏はそれぞれには遇っていた模様。

それぞれの近況から、仕事・家族・経済・社会情勢と語り合う事多く実に有益。

温泉入浴・食事・部屋の布団の上でと午前1時近くまで話し合う。

翌朝は7時前後にそれぞれ起床。倉沢以外は朝風呂を使う。

朝食後、雪が降り出したので早々に出立。

徳川家康が本能寺の変で逃げ帰る際に渡海した海岸に出る。白子漁港に移動するとそこは大黒屋光太夫が出港した港であった。井上靖揮毫の石碑を見る。



平成25年2月12日三重県湯の山温泉

左から 岡本、浜西、福田、宮崎、倉沢

文責:倉沢良典(大21)

////////////////////////////////////

<編集後記>

今回は北文協の記録を掲載しました。倉沢の記憶違いがあるかもしれません。

何かあればご指摘ください。

平成 26 年 4 月の九州歯科大学創立 100 周年記念行事に合わせて文芸部 OB 会を開催出来たらと考えています。お考えをお聞かせください。

<お知らせ>

文芸部 OB 会では現役学生諸君の作品によるデジタル九歯大文学への参加を歓迎します。作品を読まれた感想もお待ちしています。

本部同窓会経由のメールでご連絡下さい。

編集担当 倉沢良典(大 21 期)

<デジタル九歯大文学 バックナンバー>

創刊号 久保悦子詩集「やすらぎ」

第 2 号 青柳雄一郎選集

第 3 号 松尾芳樹「島へ！」

第 4 号 山地直樹詩選集

第 5 号 欠号

第 6 号 倉沢良典作品集「中澤少尉と天山号」

第 7 号 古田正彦詩選集

第 8 号 菊池玄洋詩選集

第 9 号 松井正詩選集

第 10 号 九州歯科大学文芸部小史

第 11 号 外山知世作品集

第 12 号 北文協特集

九州歯科大学文芸部 OB 会

呼びかけ人:松尾芳樹(大 16)

稲井 徹(大 16)

山地直樹(大 17)

合沢康生(大 18)

友清 直(大 19)

古田正彦(大 20)

菊池玄洋(大 22)

松井 正(大 23)

倉沢良典(大 21)